

小松市立南部中学校 A



大「こっちこっちー！」
 小学校1年生の大地君は1年1組のお部屋で、お友達とボール遊びをしていました。
 大「いくよーっ！」
 大地君がボールを投げようとしたその時です。
 グラグラッと床が揺れました。

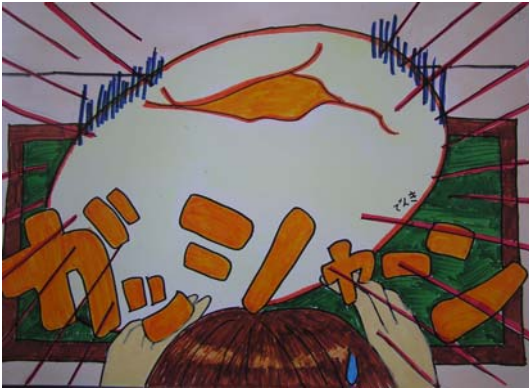


大「うわあ」
 大地君もお友達も大慌て。すぐに先生がお部屋に入ってきました。
 先「みんな、地震です！すぐに机の下へもぐって下さい」
 みんなは、先生の言うとおりにして、机の下にもぐりましたが、大地君は・・・
 大「えー？地震って何？僕ももっと遊んでいたいな・・・」
 と、ボール遊びを続けました。
 床はもっともって揺れました。



大「うわああっ！」
 ドサッ
 大「いたたたたたっ・・・」
 先生の注意を聞かなかった大地君は、しりもちをついてしまいました。でも、机の下にいる子は安全です。
 大地君が立とうとしたとき、

小松市立南部中学校 A



ガシーン！
という音と一緒に、大地君の上に電気が落ちてくるではありませんか。
大「うわあっー！わーん！誰か助けてよー」
そのときです。



ノ「時間よ止まれー」

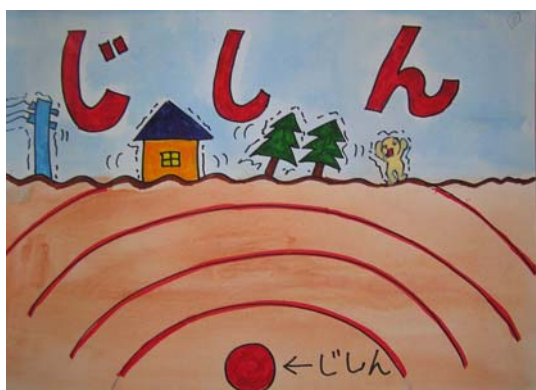


どこからか声がしたかと思うと、大地君の上の電気が
ピタッと落ちるのをやめました。友達も、さっきまで揺れて
いた床も、何一つ動いていないのです。
大「あれ？どうなってるの？」
大地君が首をかしげていると、

小松市立南部中学校 A



ノ「こんにちは。大地君」
 かわいらしい声が上から聞こえてきます。
 大地君が上を見上げると、なんと、とても小さくて羽を持っているかわいい女の子がとんでいます。
 大「え？え？君は誰なの？」
 ノ「私はノームよ。大地の妖精なの」
 大「よ、妖精？だから飛んでいるの？」
 ノ「そうよ。大地君を助けに来たの」
 大「そうなの？じゃあ、みんな止まってるのはノームちゃんの魔法？」
 ノ「そうよ。あのままだったら大地君は電気の下敷きだったもの」
 大「うわあっ。それは大変。どうもありがとう」
 ノ「どういたしまして。でもね、このままでは大地君は安全じゃないのよ」
 大「え、なんで？」
 ノ「それはね、私の魔法は時間を止めることと戻すことだけだから」
 大「どうしたら僕は助かるの？」
 ノ「私の言う事をちゃんと聞いて守れば大丈夫よ。まず、何で床がゆれていたか分かる？」
 大「うーん・・・どうして？」



ノ「答えは、地震が起きたから。地震はね、地面の深い所で生まれて、ここまでつたわってくるの。そして、いろんな物が落ちたり倒れたりしてくるのよ」



大「そうか。電気が落ちてきたのもそのせいだね」
 ノ「あたり。じゃあ、どうやったら自分を守ることができるでしょう？」
 大「うーんと・・・先生は確か机の下にもぐりなさいって言ってたっけ・・・」
 ノ「そう！それよ。かたい机の下にいれば、上から物が落ちてきても安全なの」
 大「なるほど。そういうわけがあったのかあ」

小松市立南部中学校 A



ノ「そうよ。机の下に入ってグラグラするのがとまるまで待つ。それから、先生の言うとおりに3つの約束を守ってね」
大「3つの約束？」
ノ「うん。お・か・し・の約束よ」
大「おかし？おいしそう！」



ノ「食べる訳じゃないわ。でも、おかして覚えるの。おかしの”お”は、おさないの”お”」



大「おさない？」
ノ「ええ。廊下を歩くときや並んでいる間、前の子をおしてはダメってこと。もし、おしてしまったらドミノたおしみたいに、みんな倒れてケガをしてしまうわ」
大「そうか！分かった。おかしの”お”は、おさないの”お”だね。つぎは？」



ノ「おかしの”か”は、かけないの”か”」
大「書けない？」
ノ「ほら、よく、かけっこするでしょ？走る、という言葉はかける、とも言うの。もし、みんなが走ったら・・・」
大「ぶつかって転んで、みんなケガしちゃうよ！」
ノ「でしょう？かけない、のは大切よ」

小松市立南部中学校 A



大「はい。最後はおかしの”し”だね？」
 ノ「ピンポーン。”し”は、しゃべらないの”し”よ」
 大「しゃべっちゃダメなの？」
 ノ「そうよ。しゃべっちゃダメ。
 みんなしゃべっていたら、先生がいくら注意しても…」
 大「うるさくて、どうしたらいいのかわからない！」
 ノ「うんうん。でしょう？しゃべっていると大切なことが
 聞こえないの」



大「ということは、お・か・し・は、おさない・かけない・
 しゃべらないってことだね？」
 ノ「そうそう。大地君は守れるかしら？」
 大「まかせて！自分のことは、自分で守らなくちゃね！」



ノ「えらい、えらい。じゃあもう時間を戻すね。
 私が教えた通りにするのよ」
 大「うん！でもノームちゃんはどこに行っちゃうの？
 また会える？」
 ノ「もちろん！いつも大地君と他のみんなを見守って
 いるよ」



大「机の下にもぐらなきゃ」
 大地君は急いで机の下にもぐりました。
 しばらく床はゆれて、やがてスッと止まりました。

小松市立南部中学校 A



先「みんな！静かに2列に並びましょう」
先生が言いました。1年1組のみんなは2列になりました。
先「それでは今から外へ出ます。
歩いて静かについてくること」



大地君は、お・か・し・の3つの約束を思い出して、
おさない・かけない・しゃべらない・を、きっちり守りました。
そして、無事地震は終わって、大地君もみんなも助かり
ました。大地君はグラウンドで、ふと呼んでみました。
大「ノームちゃん」



すると、どこからか、あのかわいらしい声がしました。
ノ「よく頑張りました。大地君、ハナマル！」